

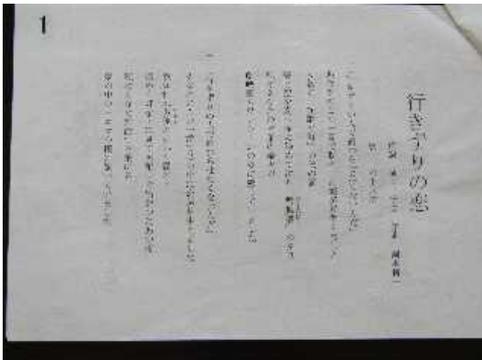


掛川市在住の岡本耕一さんは昭和20年生まれの73歳、現役時代は小中学校の教員として38年間の勤務をしていました。そのうち6年間は中学校の先生の期間がありました。岡本さんと音楽の出会いは静岡大学教育学部4年生の始めでした。小学校の先生になると自分でオルガンを弾いて音楽を生徒に教えたりしなければならぬということもあり、アルバイトで貯めたお金でオルガンを購入し、半年間に亘り独学で猛練習をしました。すると、さらに「ピアノピース」をどうしても弾きたくなり大学4年生の10月に貯金をはたいてピアノを購入し、練習に励みました。



50年ほど前はオルガンを弾ける小学校の男性の先生が少なかったため、学校が変わるたびに学校の代表として「市が主催する音楽発表会」に参加するよう依頼を受けました。当時から自ら作詞作曲した曲で発表会に参加していました。

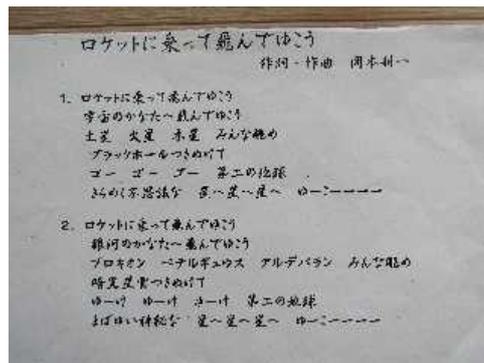
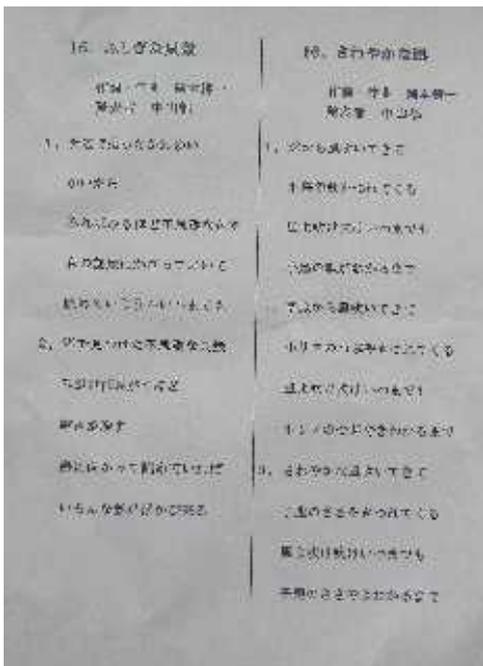
とある小学校では、クラス全員に詩を作らせてそれに少し手を加えて、全員の詩に即興で曲を作り録音しました。その中から2曲を皆で選び合唱コンクールに参加しました。主旋律と副旋律の2部合唱にしました。その曲名は「ひまわり」「僕の好きな食べ物」というタイトルでした。教員時代は「市が主催する音楽発表会」に7回も参加することになり、その都度作詞や作曲、器楽(リズム)の曲を作って生徒たちと一緒に参加しました。



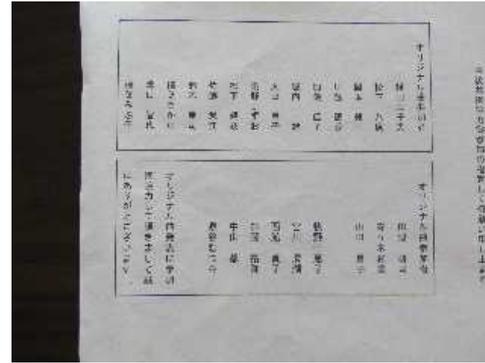
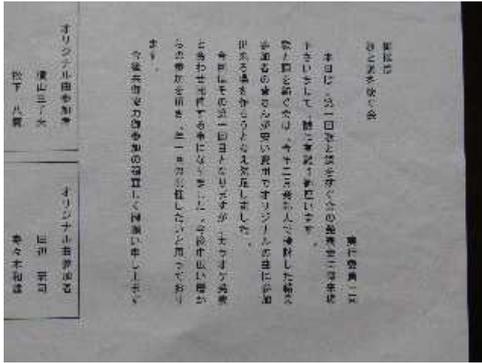
そして定年を迎えた時には退職金の一部で念願のグランドピアノを購入し、さらに作詞作曲に磨きをかけていきました。その頃、囲碁仲間に俳句を詠まれる方がいて、その方に作詞を依頼したところ「行きずりの恋」という作詞をしてくださいました。それに岡本さんが曲を付けて「行きずりの恋」という歌が誕生しました。

作詞 横山三千夫 作曲 岡本耕一 「行きずりの恋」の完成です。

この歌をカラオケが大好きな仲間の松下八広さんが発表者となって歌ってくれました。



そして仲間の皆さんから発表会を開催したらどうか？との話が持ち上がりました。折角の機会なので、そのために26曲の作詞作曲をしました。このうち数曲は横山三千夫さんの作詞となりました。そして2014年8月12日に掛川市美感ホール(聴衆人員300名余)で初めてのコンサートを開催しました。このことは当時新聞社にも取り上げられ、コンサート当日は満席状態で盛況だったようです。

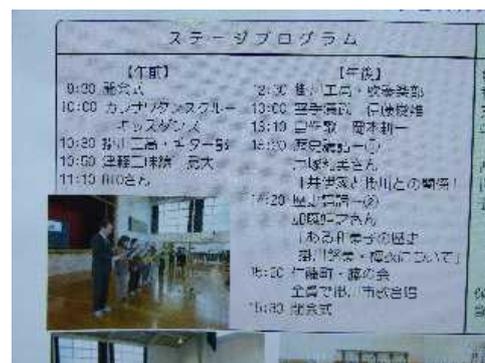


そして、横山三千夫さんと松下八広さんより詩をいただき、それに岡本さんが曲を付けて十数曲を作曲し、3人主催の「歌と詩を紡ぐ会」を開催しました。この会も盛況だったようです。その後も、岡本さんはシニアカラオケ大会や演芸大会にも積極的に参加して自作曲を披露しています。



また、障がい者就労継続支援B型事業所として発足した「きほくのもり ペンタス」の歌を作曲されました。この施設の理事長の戸塚久美子さん(元県会議員)が作詞をされ、その詩を元に岡本さんが作曲をされた歌が開所式で披露されました。(当時の様子がYOUTUBEにありますのでご覧ください。下記の関連リンクをご参照ください。)

※「きほくのもり ペンタス」(<https://kihokupentas.jimdo.com/>)



このようにシンガーソングライターとして地域貢献に積極的に取り組んでおられます。引き続き地域貢献のために、作詞作曲をお願いします。

(詳細は岡本耕一さんまで TEL0537-22-3010)

小笠・榛南地区 生きがい特派員 高井 豊

[関連リンク](#)